

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 2001143583 A

(43) Date of publication of application: 25.05.01

(51) Int. Cl
H01H 35/02
G01C 9/06
G01C 9/10

(21) Application number: 11327587

(22) Date of filing: 18.11.99

(71) Applicant: NIHON KAIHEIKI INDUSTRY CO LTD

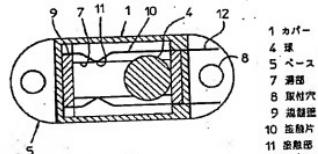
(72) Inventor: OHASHI SHIGEO

(54) SLOPE SWITCH

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a slope switch that has a high contact reliability, and low chattering, and manufactured at a low cost.

SOLUTION: A switch body comprises a pair of contact pieces 10, at least one of which is made of an elastic member. At least a ball 4 is arranged to roll between the contact pieces 10. The width between the contact pieces 10 is designed to have one side part greater than the diameter of the ball 4, and the other side part slightly smaller than the diameter of the ball 4. The slope of the switch body is electrically detected by determining whether the ball 4 is lightened between the pieces 10 according to different widths between them, or directly switches the load connected to the terminal 12.



1 カバー
4 球
5 ベース
7 滑面
8 取付穴
9 滑溝
10 強熱片
11 強熱部
12 電子部

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-143583

(P2001-143583A)

(43)公開日 平成13年5月25日 (2001.5.25)

(51)Int.Cl.
H 01 H 35/02
G 01 C 9/06
9/10

識別記号

F I
H 01 H 35/02
G 01 C 9/06
9/10

テ-マコ-ト(参考)

C
E

審査請求 未請求 請求項の数 5 O.L (全 4 頁)

(21)出願番号

特願平11-327587

(71)出願人 000230722

日本開閉器工業株式会社
神奈川県川崎市高津区宇奈根715番地1

(22)出願日

平成11年11月18日 (1999.11.18)

(72)発明者 大橋 重雄

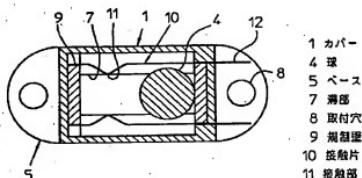
神奈川県川崎市高津区宇奈根715番地1
日本開閉器工業株式会社内

(54)【発明の名称】傾斜スイッチ

(57)【要約】

【目的】 安価で接触信頼性が高く、チャタリングがない傾斜スイッチを提供する。

【構成】 少なくとも何れか一方が弾性部材から成る一对の接触片10と、該接触片10間に任意に転位する少なくとも一つの球4を配設したスイッチ本体と、前記接触片10の対向幅を、何れか一方は前記球4の直径よりも大きく配置するとともに他方は前記球4の直径よりも僅かに小さく配置し、前記球4の直径と前記接触片10間に挟みの対向寸法関係により前記球4が前記接触片10間に挟持されるか否かを以ってスイッチ本体の傾きを電気的に検出、乃至スイッチ本体の傾きにより端子部12に接続した負荷を直接閉鎖する。



- 1 カバー
- 4 球
- 5 ベース
- 7 脊部
- 8 取付穴
- 9 検査部
- 10 接触片
- 11 接触部
- 12 端子部

【特許請求の範囲】

【請求項1】 少なくとも何れか一方が弾性部材から成る一対の接触片と、該接触片間に任意に転動する少なくとも一つの球を配設したスイッチ本体と、前記接触片の対向幅を、何れか一方は前記球の直径よりも僅かに小さく配置するととともに他方は前記球の直径よりも僅かに大きめに配置する一対の接觸片間に挟持されるか否かを以ってスイッチ本体の傾きを電気的に検出、乃至スイッチ本体の傾きにより前記接觸片間に接続した負荷を直接開閉することを特徴とする傾斜スイッチ。

【請求項2】 前記一対の接觸片の先端部を予め前記球側に倒れ込むように配置するとともに、前記対向先端部間を一定間隔に保つための規制壁を設けたことを特徴とする請求項1記載の傾斜スイッチ。

【請求項3】 前記接觸片は線材により形成され、しかも前記規制壁が前記接觸片の先端部を規制する一対の凹所又は突起部により形成されたことを特徴とする請求項2記載の傾斜スイッチ。

【請求項4】 前記スイッチ本体内に電気的に絶縁性の液体と浮き部材を封入するとともに、該浮き部材の浮力により、前記接觸片間を開閉することを特徴とする請求項1、請求項2、及び請求項3記載の傾斜スイッチ。

【請求項5】 前記浮き部材を空中に形成したことを特徴とする請求項4記載の傾斜スイッチ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、機器の傾きを検知して電流を制御するために設けられる傾斜スイッチに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、遮断機や厨房設備等の開閉駆動部分に取り付けられて電流を制御する傾斜スイッチは、転倒検知スイッチと異なり、特定方向の繰り返し開閉耐久が求められ、現在も水銀スイッチ等が使用されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 水銀を使用した傾斜スイッチは環境の面で大きな問題を抱え、国として厳しい規制対象とされている。その他、従来より厨房設備など食品を扱う機器には不適当であった。また、繰り返し開閉耐久が求められる場合、従来の転倒検知型傾斜スイッチでは開閉容量や耐久性能に課題があった。本発明はこうした問題を解決し、耐久性に優れ、環境に配慮した傾斜スイッチを安価に提供する目的で発明されたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明は上記の問題点を解決するために、少なくとも何れか一方が弾性部材から成る一対の接觸片と、該接觸片間に任意に転動する少なくとも一つの球を配設したスイッチ本体と、前記接觸片

の対向幅を、何れか一方は前記球の直径よりも僅かに小さく配置する。また、前記接觸片の先端部を予め前記球側に倒れ込むように配置するとともに、前記対向先端部間を一定間隔に保つための規制壁を前記傾斜スイッチ内に設ける。また、前記接觸片は線材により形成し、しかも前記規制壁が前記接觸片の先端部を規制する一対の凹所又は突起部により形成される。さらに、前記スイッチ本体内に電気的に絶縁性の液体と浮き部材を封入する。

【0005】

【発明の実施の形態】 本発明は、対向距離を変化させた一対の接觸片間に可動接点の球が、スイッチ本体の傾斜によって転動して前記接觸片間に開閉するという極めて簡単な構造により傾斜スイッチが構成されるにもかかわらず、前記接觸片と球が摺動接觸関係を成しているので、安定した接觸を維持し、安価で品質に優れた傾斜スイッチを、よりコンパクトに構成することができる。

【0006】

【実施例】 以下、本実施例について図面を参照しながら説明する。図1は本発明の傾斜スイッチの第1実施例を表す平面断面図（オフ状態）である。また図2はその正面断面図であり、図3はそのオン状態を表す平面断面図、さらに図4はその分解斜視図である。

【0007】 これらの図において、導電体から成る転動自在の球4を直線的に転動するように案内する溝部7を形成したベース5と、このベース5を覆い前記球4を封入するカバー1とを凸凹係止部2、6により係止するとともに、前記球4の転動軌跡を略中央として1対の弾性部材から成る接觸片10を前記ベース5とカバー1間に挿引固定して傾斜スイッチ本体が構成されている。

【0008】 前記接觸片10の一端は端子部12を形成するとともに、もう一端は前記ベース5に突設した規制壁9により倒れ込みが阻止されている。そしてこの接觸片10の対向間距離は端子部12側を前記球4の直径よりも僅かに大きく、規制壁9側近傍の接觸部11において前記球4よりも僅かに小さくなるように配置されている。

【0009】 特に、前記接觸片10先端部は規制壁9によってその間隔を規制されることにより、接觸部11の対向間隔を極めて精度良く維持し、前記球4との接觸力を常に一定に保つように作用するという特徴を有している。

【0010】 即ち、接觸片10を予め規制壁9側に倒れ込む方向に設定することにより、接觸部11間距離が過ぎて接觸しなかったり、また閉じ過ぎて球4の動きを阻止することができないなど、対向間距離の精度を著しく向上させることができ、品質の良い傾斜スイッチを構成することができます。

【0011】 図5は本発明の傾斜スイッチの第1実施例の端子部12の構成方法を表す部分斜視図である。球4の転動に影響がないよう薄板で形成された接觸片10

の端子部12を折り重ねて構成した事例である。

【0012】このように構成した傾斜スイッチは、従来の球体自重を利用した突当接觸(図10の従来の傾斜スイッチ)に比較して、通電及び閉閉容量とも大きく確保することができるだけでなく、接觸が安定し、チャタリングが少ないという特徴を有することができる。さらに構造が極めて簡単で小形に製作することができ、しかも安価で堅牢な傾斜スイッチを得ることができる。

【0013】図6は本発明の傾斜スイッチの第2実施例を表す断面図であり、ベース25の分解状態を表している。本実施例においては接觸片30を細い線材にて形成し、さらに規制壁として指円凹の四部29が穿設してある。また、この四部29はその周囲を突出させて形成するなど様々な応用ができる。

【0014】このように構成した傾斜スイッチは接觸片30を線材にて形成したので、球24の動きを阻止する力が一層軽減されるとともに、検出感度を向上することができ、併せて傾斜スイッチ内部の密閉性が高まり、接觸信頼性をより高めることができると優れた特徴を有する。

【0015】従って、密閉性の高いこの傾斜スイッチの内部に、電気的絶縁性の液体と浮き部材である球を封入するとともに、前記浮き部材の浮力により、接觸片間を開閉する傾斜スイッチを構成することができる。

(図6と同一であり、何れも図示せず)

【0016】この際、浮き部材である球は中空に形成してその浮力を大きくすることができます。なお、本実施例の端子部32はプリント基板用として形成されているが、この形態に限定するものではない。

【0017】図7は本発明の傾斜スイッチの応用展開例を表す部分斜視図であり、図8はその平面図である。本事例は略直角に形成した接觸片50をテーパー状に対向配置してあり、球44の直径によってオフ側の接觸片対向距離A寸法は僅かに大きく、オン側接觸片対向距離B寸法は僅かに小さく配置した事例である。また、図9は一方の接觸片80を剛体として構成した事例である。このように接觸片の構成方法及び、端子部の構成方法、さらには傾斜スイッチの取付形態や球の数、形や大きさなど様々な応用展開が考えられるが、本発明はこうした事例を排除するものではない。

【0018】

【発明の効果】以上、詳細に説明したように、本発明によれば、次のような効果を奏すことができる。

(1) 転動する球を弾性部材からなる接觸片で挟持接觸させる構造としたので、従来の球体自重を利用した突當接觸に比較して、通電及び閉閉容量とも大きく確保することができる。

(2) 転動する球を弾性部材からなる接觸片で挟持接觸させる構造としたので、接觸が安定し、チャタリングの少ない傾斜スイッチを提供することができる。

(3) 構造が極めて簡単で小型に製作することができ、しかも安価で堅牢な傾斜スイッチを得ることができます。

(4) 接觸片の先端部間を一定間隔に保つための規制壁を設けたので、接觸片の曲げ寸法のバラツキを吸収して安定した接觸圧力を保持し、均一で品質の良い傾斜スイッチを提供することができる。

(5) 接觸片の先端部間を一定間隔に保つための規制壁を設けたので、接觸片が球を一定の荷重で挟持することができるため、球の転動を円滑にすることが可能となつた。

(6) 接觸片を線材にて形成したので、球の動きを阻止する力が軽減され、しかも規制壁を接觸片の先端部を案内する一対の凹所又は突起部により形成したので、検出感度の良い傾斜スイッチを構成することができる。

(7) 傾斜スイッチ本体内に電気的に絶縁性の液体と浮き部材を封入するとともに、浮き部材の浮力により、前記接觸片間を開閉するように構成したので、球が転動する際のノイズを防止するとともに、腐食性環境にあっても接觸部が影響を受けることがない。

(8) 浮き部材を空中に形成したので、浮力が向上し、一層検出精度を向上させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の傾斜スイッチの第1実施例を表す平面断面図(オフ状態)である。

【図2】本発明の傾斜スイッチの第1実施例を表す正面断面図である。

【図3】本発明の傾斜スイッチの第1実施例を表す平面断面図(オン状態)である。

【図4】本発明の傾斜スイッチの第1実施例を表す分解図である。

【図5】本発明の傾斜スイッチの第1実施例の端子部の構成方法を表す部分斜視図である。

【図6】本発明の傾斜スイッチの第2実施例を表す断面斜視図である。

【図7】本発明の傾斜スイッチの応用展開例を表す部分斜視図である。

【図8】本発明の傾斜スイッチの応用展開例を表す平面図である。

【図9】本発明の傾斜スイッチの他の応用展開例を表す図である。

40 部分斜視図である。

【図10】従来の傾斜スイッチを表す正面断面図である。

【符号の説明】

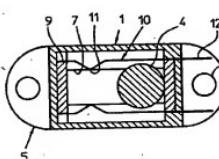
- | | |
|---------------|-------|
| 1、2、1、4、1 | カバー |
| 2、6、4、2、4、6、6 | 凹凸係止部 |
| 3、4、3 | 挟持部 |
| 4、2、4、4、6、104 | 球 |
| 5、2、5、4、5、6 | ベース |
| 7、2、7、4、7、6 | 溝部 |
| 50、8、4、8、6 | 取付穴 |

5
 9、49、69 規制壁
 10、30、50、70、80 接触片
 11 接触部
 12、32、52、72 端子部

* 29 四部
 105、107 電極
 106 絶縁体

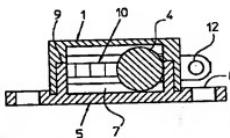
*

【図1】

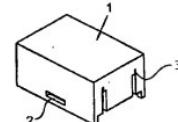


1 カバー
 4 杣
 5 ベース
 7 電極
 8 取付穴
 9 規制壁
 10 接触片
 11 接触部
 12 端子部

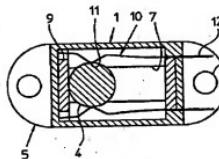
【図2】



【図4】

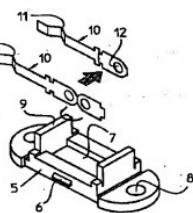


【図3】

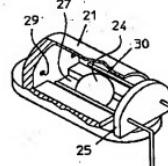
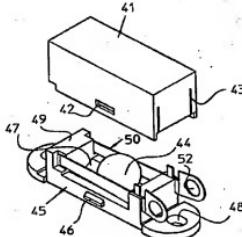


【図6】

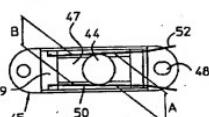
【図5】



【図7】



【図8】



【図9】

【図10】

